

福島のおゆき国会日誌

<東日本大震災復興特別委員会で質問>

16日、東日本大震災復興特別委員会で質疑に立ち、来年を目途に予定されている福島第一原発のALPS処理水の処分について、風評被害におののく地元漁業者などの思いを込めて、政府の覚悟とその具体策を質しました。

茨城県は1999年のJCO事故、2011年の東日本大震災の原発事故で二度も深刻な風評被害を受けています。そのたびごとに身近な会社が倒産したり、知人たちが塗炭の苦しみを味わうのを身をもって実感しております。これまでの政府の対応はあまりにも事務的で官僚的でした。ALPS処理水の処分についても、政府は誠意を持って説明していると自負していますが、当事者意識のないことが漁業関係者などには伝わっています。そのような政府の態度が、地元の不信を招いていることが最大の原因であると強く主張しました。

しかしながら、答弁に立つ副大臣たちは、官僚の作った答弁書を読み上げるばかり。「処理水の処分を最終的に決めるのは政府の誰なのか」という一番基本的な質問にすら答えられず、官僚が代わりに答弁に立ち、しかも要領を得ない発言をする有様です。官僚任せのくせに威張っているだけの冷たい政治ではなく、体温のある土の香りがする本物の政治を取り戻してまいります。



<防災ヘルメット着用訓練>

16日深夜に福島県沖を震源とする地震が発生しました。茨城県内での大きな被害は報告されていませんが、災害はいつ起こるか分かりません。国会においても、10日開かれた本会議のあと、議場で防災ヘルメットを着用する訓練が行われました。本会議開会中に大震災等の災害が発生し、避難する際、使用するために各議員の席の裏側などに備え付けてあります。



<有志の会 医療の現場と政策を結ぶ>

有志の会の仁木博文衆議院議員との対談をYouTubeにアップしました。仁木議員とは、衆議院選挙の初挑戦も初当選も私と同期の関係です。今回9年間もの浪人、7回目の挑戦にして初めて小選挙区で議席を勝ち取った猛者です。医師として訪問診療やワクチン接種などの現場に立ち会ってきた経験から、医療政策などについて語っております。ぜひご覧ください。



<「論座」に連載中>

朝日新聞の言論サイト「論座」に「福島伸享の『令和の政治改革』」と題した連載を寄稿しています。今号は、「日本の政治と行政のあり方を変える！『橋本行革』の理想と挫折～令和の改革の課題は時代に適合する行政のあり方を追求したはずなのに霞が関はなぜ機能不全に陥ったのか？」です。詳細はこちら→

論座 RONZA

本誌のLINE登録



衆議院議員 福島伸享事務所

【国会事務所】〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館419号室

TEL 03-3508-7262 FAX 03-3508-3532 メール h19293@shugiin.go.jp